

下仁田高等学校 学校評価一覧表② (令和元年度版)

(様式2)

羅 針 盤			達 成 度			改 善 状 況 の ま と め	学 校 関 係 者 評 価	次 年 度 の 課 題
評 価 対 象	評 価 項 目	具体的数値項目	①	②	総合			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 自分の学校が好きだと感じている生徒が80%以上である。	B	B	B	生徒が主体的に学習し、言語活動のできる限り授業に取り入れ、双方向型のわかりやすい授業を継続的に行った。	核となるような内容の取組や行事、見学会、文化活動など企画し、自分の通う学校に自信や誇りが持てるようにしてほしい。	今後も言語活動の充実を図り双方向型のわかりやすい授業の実践や生徒の実態にあった教育活動を行う。自校に愛着や誇りを持てる教育活動を検討していく。
		② 習熟度別や少人数制の授業形態に満足している生徒が80%以上である。	A	A	A	基本的な学習事項の習得、定着に向けて、1年次は、国語・数学・英語において習熟度別指導、2・3年次は、コース別の少人数指導を実施し、基礎学力の向上に努めた。	少人数指導は本校の特色の一つでもある。それを期待し希望する生徒・保護者も多い。生徒募集にも関わる貴重な取組なので維持してほしい。	引き続き、可能な限り習熟度別や少人数制の指導を強力に推進していく。
	2 地域と連携し、地域の教育力を活用していますか。	③ 「総合的な学習（探究）の時間」や学年行事等に地域に密着した学習を取り入れ、その学習活動に意欲的に取り組んだ生徒が70%以上である。	A	A	A	地域学習は特色ある行事として定着してきたが、内容等の見直しや改善を行いつつ、例年以上の成果を挙げることができた。生徒の取組状況は各学年ともに概ね良好であった。	地域に根ざした教育活動の実施はすばらしい。地域学習を通して得られる知識や経験を保護者にも十分理解が得られるように周知することを期待する。	地域学習に関連する行事は来年度以降も継続して実施する。内容の工夫・改善を進め、生徒が積極的な姿勢と気持ちで取り組めるよう事前・事後指導に力を入れる。
		④ 「ぐんまコミュニティー・ハイスクール事業」等の地域と連携した事業や諸活動に意欲的に参加した生徒が70%以上である。	B	B	B	地域に必要とされる人材育成を地域との連携事業や授業の中で新たな取組として実施した。地域に対しての活動を積極的に広げ、活動を周知できるよう取り組んだ。	特色ある活動の一つである。下仁田を全国的にアピールできるすばらしい事業である。更に魅力的なコンテンツなどを地域に発信し、充実させてほしい。	地域との連携事業が、地域に役立つ人材育成という意味で意義ある活動であることを各教科の授業の中で指導していく。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	⑤ 「学び直し学習」や「学び合い学習」を取り入れた授業がわかりやすいと考えている生徒が、80%以上である。	B	B	B	習熟度別指導や少人数指導に加え、コミュニケーションの充実を図った。また、個々の生徒状況に対応した。	様々な生徒がいる中で、個々の実態に応じた指導を実施するため、今後も研修を重ねてよりよいものとしてほしい。	生徒の多様化にともない、授業の全体指導の中に、一人一人の到達度に応じた「みとり」を充実させる。パフォーマンス評価などを取り入れ、教師間で情報を共有し、指導や評価にいかしたい。
		⑥ 多様な進路に対応した学習が役立っていると評価する生徒が70%以上である。	B	B	B	進学希望者には、模擬試験の受験を行った。就職希望者には、普段の基本的な生活習慣の維持を徹底した。	地域を支えていく生徒の育成に向け、進学就職にかかわらず生きる力を身につけさせてほしい。保護者との情報交換や連携も重要である。	将来に向け、学力を身につけることの必要性を引き続き生徒に伝えていく。PTA活動や三者面談を通して保護者の理解や協力を促していく。
	4 生徒は確かな学力を身につけていますか。	⑦ 授業に真面目に取り組んでいると自己評価している生徒が80%以上である。	B	B	B	教師間で連携し、授業規律の確保をここ数年維持できている。授業態度は概ね良好であった。	生徒が興味を持つような授業形態の工夫や規律の確保により、学力をより確かなものとして身につけられると思う。継続した取組に期待する。	授業のあいさつの徹底や授業中のマナー違反を許さない体制を引き続き維持する。今後も授業規律の確保に努める。
		⑧ 学力の定着を図る指導を充実させ、学力が向上したと自己評価している生徒が70%以上である。	B	B	B	一斉授業では補いきれない学習の遅れや授業内容以外の学習を行うため、放課後等の個別指導に教科・学年で協力して取り組んだ。	基礎的な指導を重視しつつ、少人数の利点を生かし、個々の生徒に対し必要な支援を継続していくことを期待する。	今後も個に応じた指導を心掛ける。その際、カウンセラー等から助言をもらい、その手法を取り入れるなど、さらに指導法を工夫する。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	5 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑨ 生徒とのコミュニケーションを図り、年3回以上の面談指導を行い、面談が役立ったと感じている生徒が70%以上である。	B	B	B	面談週間に限らず、学校生活全ての場面で教師からの声掛けを実践するようにし、全職員で不安を抱える生徒への対応に努めた。その中で、情報の共有化を図るとともに、スクールカウンセラーや外部機関との連携を密にとるよう心掛けた。	学校の取組はすばらしい。スポット面談や声掛け等、生徒とのコミュニケーション機会を増やしてほしい。また、いつでも生徒や保護者との面談ができる体制を維持してほしい。	面談週間に限らない、全職員による学校生活全ての場面での声掛けを継続して実施していく。スクールカウンセラーや外部機関との連携をさらに密にし、生徒理解を深める研修等も複数回実施していく。
		⑩ 部活動に加入し、継続的に活動している生徒が50%以上である。	B	C	B	設置する部活の精選、活動内容の充実に取り組んだ。生徒の充実感が得られる部活動づくりに励んだ。	生徒数の減少により難しい実態があると思うが、多くの生徒が愛好会活動も含め、部活動の楽しさや達成感等を感じられるようにしてほしい。	生徒の活動意欲が向上できる部活動等の設置について検討する。設置してある部活動は、生徒にとって魅力あふれる活動となるよう指導方法等を検討していく。

Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑪ 情報モラルや交通安全、健康に関する講話等が役立ったと評価する生徒が70%以上である。	B	A	B	実生活での具体例を盛り込んだ講演会や実体験を通じた学習活動を企画・実施した。また、学校保健委員会では病気を放置することの危険性や感染症について全校生徒に報告した。	学校の取組が成果として現れている。発達段階に応じた健康・安全教育を今後も適切に指導してほしい。トラブルに巻き込まれないために、薬物乱用防止や情報モラルについての指導を継続し、充実を図って欲しい。	学校生活および将来の生活の中で生かせる知識・技能の習得を目指し、取組内容の改善を図りたい。また、学校保健委員会では、生徒が主体的に活動報告ができるように指導していきたい。
		⑫ 生徒の欠席・遅刻を減らし、欠席率5%以下、遅刻率は3%以下である。	A	A	A	遅刻指導を実施していく中で、改善が見られる生徒が増えてきた。長期欠席する生徒には保護者との連絡を密にとり、連携を深めるとともに、外部機関とも連携を図り対応した。	年々改善に向かっていく。学校の地道な努力が成果として現れている。長期欠席する生徒に対しては、保護者との連携をさらに密にしてほしい。	遅刻指導は継続して実施していく。長期欠席する生徒には保護者との連携をさらに密にしていくとともに、外部機関との相談体制を強化して早期に対応できるようにしていく。
		⑬ 本校で定めた服装・頭髪に関するルールを遵守していると考えている生徒が70%以上である。	A	A	A	多くの生徒が校内ルールを遵守して学校生活を送れるようになってきた。進路との関連を強く意識づけ、生徒が自主的に規範意識を向上できるよう取り組んだ。	生徒指導面でのルール遵守の指導が行き届いている。生徒だけでなく保護者の理解や協力により、さらに高い目標を目指してほしい。	服装・頭髪指導の充実、授業規律の徹底、日頃の声掛けなどを根気強く行い、ルール遵守の徹底に取り組み続ける。進路と関連づけた、規範意識向上にもさらに積極的に取り組んでいく。
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 生徒主体のいじめ防止活動に積極的に取り組んでいますか。	⑭ 仲間を受容し、いじめを絶対許さない雰囲気づくりに努め、学校はいじめの防止と早期発見を積極的に行っていると感じている生徒が85%以上である。	B	B	B	生徒からの申し出や情報に迅速かつ丁寧に対応できるよう、いじめ対策委員会を中心として組織的に取り組んだ。生徒会による年間を通じた「あいさつ運動」を実施し、全校生徒へ学校全体で「いじめ撲滅」に取り組んでいるメッセージを伝えることができた。	高い目標設定をしているため自己評価は低い、取組への成果は出ていると思われる。引き続きいじめ根絶に向けて学校全体で取り組んでほしい。生徒が安心して学校生活を送ることができる居場所作りが大事である。	アンケートや面談等による情報集約のさらなる徹底、より綿密な職員間の情報共有を行い、学校全体で早期発見、早期解決に努めていく。また、生徒が主体となっていじめ防止に取り組む活動を増やすとともに、外部機関との連携を一層深め、講演会の内容、時期を検討して実施し、いじめを許さない心を育てていく。
		⑮ 進路ファイル(ポートフォリオ)に前向きに取り組んでいる生徒が70%以上である。	B	B	B	「進路ファイル(ポートフォリオ)」に対する取組はよく、インターンシップにも前向きに取り組んでいた。	進路指導が充実していることがうかがえる。今後も、より発展・充実を目指して取り組んでほしい。	「進路ファイル(ポートフォリオ)」について職員にアンケートをとり、より良いものへ改善していく。
		⑯ 進路関連行事に意欲的に取り組んでいる生徒が70%以上である。	B	B	B	「進路ファイル(ポートフォリオ)」を活用することにより、進路行事の記録を保管することができ、次年度への指導に生かすことができた。進路の手引きを家庭配付し、保護者と情報を共有できるようにした。	進路の手引を保護者にも配付するなど、情報を家庭と共有できる工夫がみられた。家庭との連携が密となるように継続して取り組んでほしい。	「進路ファイル(ポートフォリオ)」に取り組む時間を確保し、より充実した進路指導を目指す。
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	9 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑰ 「将来の職業」や「卒業後の進路」について前向きに考えている生徒が70%以上である。	B	B	B	生徒の進路実現に向けて、学年と協力し、キャリア教育の観点から、卒業後の進路に対する意識をつくっていきけるよう、生徒に対して丁寧な指導をおこなってきた。	進路目標の実現は重大な責務であるので、進路意識の高まりはとても重要である。自主自立の心で将来へと進路を歩めるように、指導の維持を希望する。	日常の中で、卒業後のことを考えた行動がとれるように、学年、教務、生徒指導とも連携して、生徒の進路指導をしていく。
		⑱ 生徒の卒業後の進路について一度でも話し合いをした家庭が70%以上である。	B	B	B	「進路ファイル(ポートフォリオ)」を活用することで家庭での進路の話し合いの内容を担当が把握しやすくなった。	保護者の進路意識の高まりも見られ一定の成果が出ている。年間を通して継続した指導を期待する。	「進路ファイル(ポートフォリオ)」の活用と「進路のてびき」の家庭配付により、家庭での進路相談がより活発になるようにしていきたい。
Ⅴ 開かれた学校づくりに努めていますか。	10 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑲ 学校の教育活動を理解してもらうため学校のWEBページ等を利用して、地域に対する広報活動を定期的に行う。	A	A	A	WEBページの随時更新等により、地域への広報活動を定期的かつ迅速に行うことができた。	WEBページを充実させることは大切である。WEBページの出来映えが生徒募集に大きく影響する。更新回数とともに今後の広報活動に期待したい。	本校の特色やメッセージが、より多く伝わるような魅力ある内容のWEBページを作成していく。
		⑳ P T A関係行事への保護者の参加が40%以上である。	B	A	A	役員の意識や意欲の高さに支えられP T A関係行事への参加は昨年より20%以上多く、円滑に各行事を企画・運営できた。	生徒が参加しているボランティア活動等にも保護者が参加できるようにするとよいと思う。P T A関係行事を含めて、魅力ある学校作りに取り組んでほしい。	より多くの行事に参加できるように学校行事の内容を検証していく。長期休業中や休日のボランティア活動に保護者が参加できるように検討していく。